

ふるさとキャリア教育の推進について

令和2年2月20日
教育総務課

子どもたちが自立し、自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたりふるさと鳥取に誇りと愛着を持ち、将来の鳥取県を担う人材を育成していくため、ふるさとキャリア教育を推進している。令和2年度から本格的に導入される小学校から高等学校までのふるさとキャリア教育の学びを蓄積する「キャリア・パスポート」を有効活用し、校種間での系統的な取組を進める。

1 ふるさとキャリア教育の系統図について（別添1）

鳥取県におけるふるさとキャリア教育の目指す人間像を明確にし、成長段階において子どもたちに身に付けてほしい力や学校、保護者、地域、社会でどのような学習や体験活動等を行っているかをまとめた系統図を作成した。この系統図及びキャリア・パスポートも有効活用しながら、子どもたちの学びの連続性や校種間でのつながりを意識した取組を推進する。

2 令和2年度取組内容について（別添2）

令和2年度に実施する事業のうち、主なものは以下のとおり。

(1) 「ふるさとキャリア教育」モデル事業

県内東・中・西部の3地区でふるさとキャリア教育を推進するモデル校を指定し、キャリア・パスポートを効果的に活用することについて研究・実践する学校を支援し、取組を全県に広げていく。

(2) 親子でおしごと体験ツアー

子どもたちが働くことの意味ややりがいを学び、将来について深く考えるきっかけにつなげるとともに、鳥取県内のさまざまな企業について児童や保護者が知る機会を提供するため、小学校5、6年生の児童とその保護者を対象に県内の企業を訪問する体験ツアーを開催する。

(3) 中学校トークプログラム

中学生が多様な価値観・職業観等を知り、自己肯定感や将来に向けた夢や目標の形成、ふるさとへの愛着と貢献意識の形成を図るため、中学生、大学生、地域の大人の三者が少人数のグループになって人生観や職業選択等について相互に語り合うトークプログラムを実施する。

(4) 小中学生に向けた産業教育紹介パンフレット

子どもたちが専門教育を正しく理解し、自己の興味・関心や適性等にあったキャリア形成を促進するため、産業教育の学習内容やその先につながる職種などを紹介するパンフレットを作成し、県内の小学5年生から中学3年生に配布する。

<関連> とっとりふるさと企業読本（令和元年度作成）

生徒が地域や地元企業に対する理解を深めるため、ふるさとで活躍している企業や社会科見学可能な企業をまとめた「ふるさと企業読本」を作成し、職場体験前の企業調べ等で活用する。

(5) 県立学校への学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入

地域住民や保護者等が学校運営に直接参画して、学校の目標やビジョンを共有し、学校と一体となって子どもたちを育み、支援するための学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入を進める。

(6) 普通科高校ふるさとまなびプロジェクト

上級学校への進学が多い普通科高校の生徒に社会人・職業人としての自立を促すのと同時にふるさとへの愛着を形成するため、地域における課題解決方法の探究的な学習や地元企業見学、インターンシップ等の取組を実施する。

(7) キャリア塾

全ての高校において各学年の発達段階に応じた地元企業や卒業生等による講演や地元事務所の訪問等の取組を実施する。

鳥取県における「ふるさとキャリア教育」のめざす人間像

1. ふるさと鳥取に根差して、グローバルな視点で考え行動することができる人材
2. 鳥取県に誇りと愛着を持ち、ふるさと鳥取をさらに継承・発展させようとする意欲や態度を身につけた人材
3. 社会の変化に対応しながら新たな価値を創造することができる人材
4. 自立し、自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたりふるさと鳥取を思い、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる人材

学 校

連携・協働

保護者・地域・社会

全県で統一した
ビジョンにより推進

◇幼児教育施設（幼稚園・保育所・認定こども園等）

【0歳から就学前】

- 地域の特色を生かした遊び
- 身近な自然や文化・伝統に親しむ遊び

ふるさと教育の視点

◇小学校及び特別支援学校小学部

【1、2年生】

- 生活科
- 特別活動【学級活動(3)キャリア教育】

【3、4年生】

- 社会科【実践例】「学校のまわり」「水はどこから」
- 特別の教科 道徳 ○総合的な学習の時間
- 特別活動【学級活動(3)キャリア教育】

【5、6年生】

- 社会科【実践例】「情報産業とわたしたちの暮らし」「自然災害を防ぐ」「わたしたちの暮らしと政治」
- 特別の教科 道徳
- 総合的な学習の時間
- 特別活動【学級活動(3)キャリア教育】、土曜授業等

自分の住む地域のすばらしさや魅力を知ることのできる地域への愛着をもつ

愛着をもつ

自分の住む地域社会や鳥取県について体験的に学ぶことのできる魅力を感じ、ふるさとを誇れることを考える

考える

◇中学校及び特別支援学校中学部

○社会科

- 【実践例】「歴史の調べ方 まとめ・発表の仕方」「身近な地域の調査」「これからの食糧生産とわたしたち」

- 特別の教科 道徳
- 総合的な学習の時間
- 特別活動【学級活動(3)キャリア教育】、土曜授業等
- 職場体験 ※2年生のみ

地域社会や地元企業に対する理解を深める中で、自己の生き方を考えるとともに、ふるさとでの課題解決のために自分のできることを考え行動する

行動する

◇高等学校

◆全県立高校でキャリア教育全体計画に基づいた事業を実施
→ キャリア教育充実事業を実施し、生徒の社会的自立に必要な能力等を育成

【内容】社会人講師による講演、地元事業所訪問、地域貢献活動、インターンシップ等の実施

<普通学科>

- 総合的な学習（探究）の時間、特別活動等
- 【実践例】・探究型プロジェクト学習

<専門学科>

- 課題研究、関連する教科・科目等
- 【実践例】・テクノボランティア（工業科目の技術技能を生かした地域貢献活動）
- ・地域食材の活用と商品

<総合学科>

- 産業社会と人間
- 総合的な学習（探究）の時間、特別活動等
- 【実践例】・青谷学（青谷の探究学習）
- ・米×米プロジェクト（米子市中心市街地活性化探究学習）

◇特別支援学校高等部

◆全県立特別支援学校において、個別的教育支援計画を作成し、障がいのある状況等に応じたキャリア教育を実施

- 【実践例】・就労促進セミナー、福祉セミナーの実施（各圏域）
- ・鳥取県特別支援学校技能検定の実施

夢や希望に向かって果敢にチャレンジし、将来ふるさと鳥取県に貢献する気概を持つ生徒に成長

→ 卒業（進学）の際に「ふるさと鳥取応援アプリ（とりふる）」へ登録（学生登録）

【目標】100%

キャリア教育の視点

小・中学校・各市区町村で独自の取組を実施
特別支援学校小学部・中学部・各学校で様々な取組を実施

高等学校・特別支援学校高等部・各学校で様々な取組を実施

地域とともにある
学校づくり

学校、保護者、地域住民等が
・教育の当事者となることで、責任感を持ち、積極的に子どもへの教育に携わる。
・学校運営や教育活動へ参画することで、子どもたちの学びや体験を充実させるとともに、大人の自己有用感や生きがいにつながる。
・顔が見える関係となり、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営を推進する。

社会に開かれた
教育課程

コミュニティ・スクール

地域学校協働活動

一体的推進

・地域住民、学生、保護者、PTA、NPO法人、民間企業、各種団体の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える。
・地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える。

学校を核とした
地域づくり

- 地域の自然遊びへの支援・協力
- 地域の文化・伝統に親しむ機会の提供

- 郷土学習・ふるさと学習・地域の自然を学ぶ学習・キャリア教育（地域での職場見学・体験等）への協力

- 地域行事への児童の参加促進（伝統文化・芸能の継承（祭り等）、防災訓練等）

- 学校支援（花壇整備、登下校見守り、あいさつ運動、学習支援、読み聞かせ等）
- 児童のまちづくりへの参画機会の提供と協力（花壇整備、防災マップ作成等）

- リーダーとなる子どもの育成支援（公民館主催のリーダー研修等）

- 郷土学習・ふるさと学習・地域の自然を学ぶ学習・キャリア教育（地域での職場体験等）への協力

- 学校支援（あいさつ運動、読み聞かせ等）

- 生徒のまちづくりへの参画機会の提供と協力（地域課題解決学習、地域の特産品づくり、中学生議会への参加等）

- リーダーとなる子どもの育成支援（県子ども会育成連絡協議会主催のジュニアリーダー研修）

- 生徒のまちづくりへの参画機会の提供（地域探究、高校生サークル等による地域づくり、高校生議会への参加）

- 地域貢献活動の受入れ（清掃活動、地域イベント・高齢者施設でのボランティア活動等）

- キャリア教育（インターンシップによる就労体験、県内企業による企業合同説明会等）への支援

【県教育委員会のその他の取組】

- ◇社会教育関係者等の人材育成
 - 学校教育と社会教育の連携・協働等を推進するための人材の育成

- ◇青少年社会教育施設等での自然体験活動
 - 星空観察、キャンプ、登山、スキー、自然観察等

- ◇県全体での「とっとり県民の日」一斉取組

- 地産地消給食、鳥取県クイズ、歴史小冊子配布

※特別支援学校（幼稚園・小学部・中学部）においては、幼児教育施設、小学校及び中学校に準じた取組を各学校で行うとともに、児童生徒の居住地及び学校周辺校において「交流及び共同学習」を実施している。

学校

連携・協働

保護者・地域・社会

◇幼児教育施設(幼稚園・保育所・認定こども園等)

【0歳から就学前】

- 地域の特色を生かした遊び
- 身近な自然や文化・伝統に親しむ遊び

ふるさと教育の視点

◇小学校及び特別支援学校小学部

- 【1、2年生】○生活科 ○特別活動
- 【3～6年生】○社会科○特別活動
- 土曜授業等

ふるさと鳥取見学(県学)支援事業【668千円】
○小学校が県内企業、歴史・文化的名所を訪問する際のバス代を補助

【新規】「小中学生に向けた産業教育紹介パンフレット」【520千円】

○産業教育の学習内容やその先につながる職種などを紹介するパンフレットを作成し、県内の小学5年生から中学3年生に配布

◇中学校及び特別支援学校中学部

- 社会科○特別活動○土曜授業等
- 職場体験※2年生のみ

「とっとりふるさと企業読本」(作成中)を活用したキャリア教育、職業体験の充実【R2予算要求なし】

◇高等学校

- ◆生徒の社会的自立に必要な能力等を育成
- [内容]社会人講師による講演、地元事業所訪問、地域貢献活動、インターンシップの実施
- 総合的な学習(探究)の時間、特別活動等
- 課題研究、関連する教科・科目等

◇特別支援学校高等部

◆個別の教育支援計画を作成し、障がいの状況等に応じたキャリア教育を実施

「キャリア発達支援事業」【4,296千円】

○生徒が自分の将来に明確な目標を持ち、社会人・職業人として自立していけるように、社会のニーズ等を踏まえ、生徒の資格取得等を支援

「普通科高校ふるさとまなびプロジェクト事業」【288千円】

○地元企業と連携したインターンシップの実施。生徒・企業・学校のニーズを検討する会議費を支援

「キャリア塾」【3,240千円】

○卒業生が働く企業への訪問や卒業生や地元企業関係者を招いて講義・演習等を行う

夢や希望に向かって果敢にチャレンジし将来ふるさと鳥取県に貢献する気概を持つ生徒に成長

→ 卒業(進学)の際に「ふるさと鳥取応援アプリ(とりふる)」へ登録(学生登録)【目標】100%

キャリア教育の視点

全県で統一したビジョンにより推進

愛着をもつ

考える

行動する

生き方を確立する

「キャリア・パスポート」を軸に、「人・物・仕事」を系統的につなぐ

- 地域の自然遊びへの支援・協力
- 地域の文化・伝統に親しむ機会の提供

- 郷土学習・ふるさと学習・地域の自然を学ぶ学習・キャリア教育への協力
- 生徒のまちづくりへの参画機会の提供と協力

地域学校協働活動推進事業【47,986千円】

○学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進を図る

親子でおしごと体験ツアー【590千円】

○県内企業のよさを親子で認識する機会として企業訪問を実施

県市町村社会教育振興事業(県地域コーディネーター養成講座)【840千円】

○学校と地域との連携・協働を促進するとともに地域づくりを進めるためのコーディネートを行うことのできる人材を育成

【拡充】中学校トークプログラム実施事業【1,584千円】

○中学生、大学生、地域の大人の三者が少人数のグループになって人生観や職業選択等について語り合うトークプログラムを実施(3校→4校)

- 生徒のまちづくりへの参画機会の提供(地域探究、高校生サークル等による地域づくり、高校生議会への参加)
- 地域貢献活動の受入れ(清掃活動、地域イベント・高齢者施設でのボランティア活動等)
- キャリア教育(インターンシップによる就労体験、県内企業による企業合同説明会等)への支援

【拡充】高等学校改革推進事業(高等学校への学校運営協議会導入)【6,640千円】

○地域住民や保護者等が学校運営に参画し、学校と一体となって子どもたちを育むため、県立高等学校10校程度に学校運営協議会を導入

【拡充】特別支援学校における学校運営協議会制度推進事業【1,113千円】

○地域住民や保護者等が学校運営に参画し、学校と一体となって子どもたちを育むため、県立特別支援学校6校(新規3校)に学校運営協議会を導入

【県教育委員会のその他の取組】

- ◇社会教育関係者等の人材育成
学校教育と社会教育の連携・協働等を推進するための人材の育成
- ◇青少年社会教育施設等での自然体験活動
星空観察、キャンプ、登山、スキー、自然観察等
- ◇県全体での「とっとり県民の日」一斉取組
地産地消給食、鳥取県クイズ、歴史小冊子配布